

学校教育目標 「**おい**に学び **やさ**しく **ま**っすぐ伸びる」児童の育成
～夢と希望にあふれる元気いっぱいの学校～



みんな大好き大山っ子

有田町立大山小学校

学校だよりNo.22

令和8年10月5日発行

文責：校長 川原 悟



右上のQRコードを読み取っていただくと大山小学校ホームページからも御覧いただけます。

心和セラミーズのコンサート開催！

先週の昼休みに金管バンドチーム「セラミーズ」のコンサートが音楽室で開催されました。本来は、7月に予定されていましたが、あいにくインフルエンザが本校で流行したため、延期となっていたものです。開催を心待ちにしていた今回のコンサートでは、これまで重ねてきた練習の成果として全3曲が披露されました。

セラミーズのメンバーは、外部指導者の青木先生の御指導のもと、放課後の時間に音楽室で、一生懸命練習に取り組んでいます。音楽室の舞台上で演奏に挑む子供たちの表情は真剣そのもので、聴いている人たちに音を届けようとする思いと、これまでの努力が伝わってきました。会場に集まった子供たちや先生たちも、セラミーズの真剣な姿に自然と引き込まれ、じっとりと聴き入っていました。

この経験は、聴く側だけでなく、演奏する子供たちの心にも深く残る大きな成長と自信につながっているように思います。とても心に響く、素晴らしいひとときとなりました。



身体を動かす楽しさを実感～3年生跳び箱の授業～

先日より、3年生の体育では、外部から体育専門の講師をお招きし、跳び箱の授業がスタートしました。初日となった先週は、子供たちの活気溢れる様子が数多く見られました。

授業が始まると、子供たちは息をきらしながらも、目をキラキラと輝かせて何度も跳び箱へ向かっていました。「もっと跳びたい!」「次はこうしてみよう!」と、どの子供たちも身体をしっかりと動かし、跳び箱の楽しさを感じている様子がとても印象的でした。

今回の授業で感じたことは、講師の先生が跳び方の指導を単にされたのではなく、みんなで準備し、協力して後片付けすることの大切さについても指導されていたことです。

「声を掛け合い、安全な環境を自分たちでつくること。」

「使った道具に感謝し、最後まで責任をもち片付けること。」

こうしたことも、体育における大切な学びです。指導を受ける中で、子供たちは準備や後片付けにも自分から進んで取り組む姿が見られました。そして、私たち職員にとっても、よい刺激であり、よい学びの機会にもなります。

専門的な視点に触れることで、運動の楽しさはもちろん、仲間と協力する態度や道具を大切に作る心も育まれています。これからの授業で、子供たちがどんな達成感を味わうことができるのか、今からとても楽しみです。

